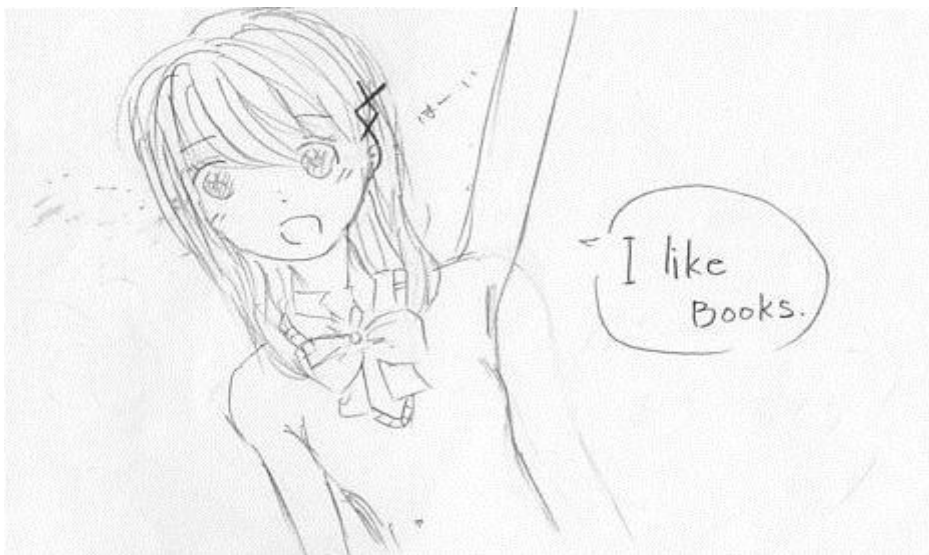


☆投稿紹介☆

みなさんが投稿してくれた作品を
紹介します。



このぱんださんの作品

☆投稿、ありがとうございます。本が好き！というメッセージ、とても嬉しいです。



☆イベント 報告☆

9月6日に、高校生を対象にした「英語 de 交流会」を開催しました。

普段接することの少ない外国人の方とテーブルを囲み英語で会話をしたり、留学経験者の方から留学先の国であった体験談や学んだことを聞かせていただいたりしました。参加してくれたみなさんは、初めは緊張した面持ちだったものの、時間が経つにつれ緊張もほぐれたようすで、最後は楽しそうに話をしていました。

英語への関心をより深め、将来の役に立つ知識を身につけるお手伝いになれば幸いです。

今後も楽しく役に立つイベントを開催できるよう、試行錯誤していきたいと思えます！
ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

本館2階若葉のコーナーでは、『Oxford Reading Tree』などの英語の多読の本、留学関係の本を置いています。こちらもぜひ活用してください。また、もっとこうして欲しいなどご意見、ご要望もきかせてください。

特集：3Dプリンターがえんぱーくにやってきた！！

えんぱーくに、3Dプリンターがやってきました。

今回は3Dプリンターを取り上げて、みなさんの疑問を解決します！！

Q1 3Dプリンターってどんなもの？

ふつうのプリンターは紙などの平面に文字や図を印刷するものですが、3Dプリンターは空間に立体を作りだすことができる装置です。

Q2 えんぱーくにあるのは、どんな3Dプリンター？

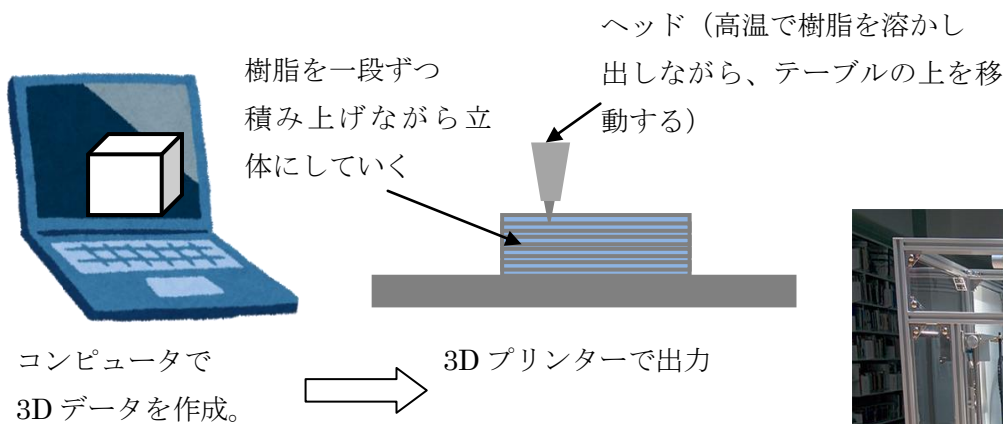
「3Dプリンター」といっても様々な種類があります。今回えんぱーくにやってきた3Dプリンターは、「FDM(熱融解積層法)」と呼ばれるタイプの機種で、糸状のプラスチック(樹脂)を熱で溶かして一段一段積み上げながら形を作っていくものです。

Q3 どうやって形をつくるの？

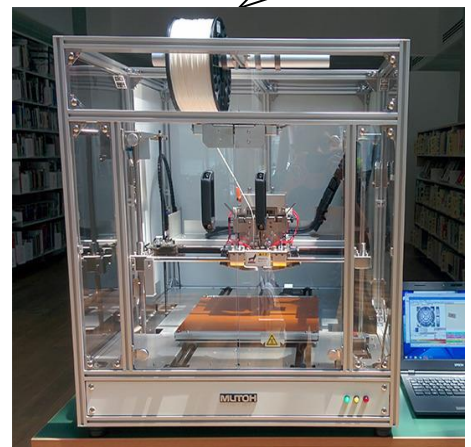
3Dプリンターがあってもそれだけでは、何も作れません。まずは、コンピュータで作りたい物体の「3Dデータ」を作って、それを3Dプリンターに読み込ませて立体を作りだします。3Dデータを作るには専用のソフトウェアが必要ですが、最近は無料で利用できるものも出ています。

Q4 何の役に立つの？

3Dプリンターが普及して、専門家だけではなく誰もが簡単にものづくりができるようになれば、工業や医療、趣味やアートの分野がこれまで以上に発展していきます。



これが、えんぱーくの3Dプリンターです！



えんぱーくの3Dプリンターは、10月から申し込みれば誰でも使えるようになります。興味のある方は、未来のものづくりをぜひ体験してみてください！

詳しくは図書館職員に聞いてください。

☆参考図書

・『3Dプリンターのひみつ』

大岩ピュン/学研パブリッシンググローバルCB事業室

・『トコトンやさしい3Dプリンタの本』

佐野 義幸 ほか / 日刊工業新聞社

塩尻市立図書館にある本を紹介するPOP（本の紹介カード）を募集し、その中から、みなさんの投票で優秀賞を選ぶ、POPコンテストを行います！応募をお待ちしています！！

■募集期間：2015年9月1日（火）～10月18日（日）

■応募場所：図書館本館および分館カウンター

■応募方法：

応募用紙に必要な事項を記入し、POPと一緒にカウンターの職員にお渡しいただくか、本館カウンターに設置してある応募箱に投函してください。（遠方の場合、郵送可）

■部門：中学生の部、高校生の部

■応募規定：10×15cm範囲内の紙で、「本のタイトル」、「著者名」は必ず記入してください。用紙の色や形、デザインは自由です。応募は一人一点まで、対象資料は図書のみに限ります。（マンガは不可。）

☆詳しくはチラシをご覧ください。

「国勢調査」って何だろう!?

「国勢調査」という言葉を聞いたことはありますか？

『広辞苑 第六版』（編者 新村出 岩波書店 2008.1）には、

「【国勢調査】行政の基礎資料を得るために、一定の時期に一定の場所で、人口動勢並びにこれに関する諸種の状態を全国一斉に調査すること。日本では1920年に第1回調査。現在では10年ごとに行われるが、5年目には簡易な調査もなされる。」と記載されています。

今年はその国勢調査の年にあたります。日本国内に住む（外国人を含む）一人一人について、男女の別、いつ生まれ、どこにだれとどんな家に住み、どこに通学・就業し、どんな職業についているのかなど17項目を調査します。

調査の結果から日本の様々なことを数値で知ることができ、その結果は

生活環境の整備など、住みやすい日本をつくるために活用されます。

公表された調査結果は、政府統計の総合窓口 e-Stat で見ることができます。また塩尻市で発行する『統計しおじり』の一部の数値にも活用されています。

例えば、『統計しおじり2014年度版』では、昭和5年（1930年）からの人口の推移をみることができます。昭和5年では30,513人、平成22年（2010年）では67,670人。80年間で人口が倍以上増えたことがわかります。

ほかにも、年齢5歳階級別人口ピラミッドや、世帯の状況など、図書館で詳しく見ることができます。

身近な自分の住む地域の数値から、国勢調査の大切さに触れてみてはいかがでしょうか。



今回の職業は
翻訳者です。
ナビゲーターは
村松沙綾さんです。



☆お仕事ナビ☆
—キャリアデザイン—

1. 仕事の内容を教えてください。

ビジネスの場で必要とされるいろいろな文章の翻訳や翻訳チェック（他の人が翻訳した文章について、ミスがないかチェックしたり、より読みやすいように編集したりする作業）を行っています。

3. やりがいを感じたり、楽しい・うれしかったりするのとはどんなときですか。

いろいろありますが、特に「自分が翻訳することで、英語が苦手な人もその文章を読めるようになる」というのは大きなやりがいです。また、推敲を重ねて満足のいく訳文ができあがったときには達成感を感じます。

2. 仕事に就いたきっかけや、なりたかった理由を教えてください。

4. 中高生のとき好きだった本や熱中していたことなどを教えてください。

中高生の頃から、英語と国語が得意科目でした。読書や作文が好きだったので、ずっと「ことば」というものに親しみがあつたかもしれません。そして、社会人になってから、たまたまwebニュースを翻訳する機会に恵まれました。最初は、ほんの副業ぐらゐの意識だったのですが、実際に取り組んでみると奥が深くてももしろい仕事だと感じ、翻訳を本格的に勉強して一生の仕事にしようと思えました。

小中学生の頃は、ミステリーにハマり、今も好きです。高校生の頃には、児童書を多読するという講座を受けました。児童書なので、絵もあり、難しい単語は出てこないのので、英語力を伸ばしたい方ぜひ試してみてください。

5. 翻訳者をめざす中高生に、メッセージやアドバイスをお願いします。

翻訳に必要なのは英語力だけではありません。翻訳者をめざす方には、英語力だけでなく、日本語力、調査力もみがくことをおすすめします。

☆縁パークしおじり☆

今回のテーマは

「全国短歌フォーラム in 塩尻」



皆さんは「全国短歌フォーラム in 塩尻」というイベントを知っていますか？
短歌のふるさと塩尻では、毎年9月下旬から10月に「全国短歌フォーラム in 塩尻」が開催されます。例年多くの短歌が寄せられ、2日間の日程の中で、投稿歌の講評、表彰のほか、塩尻市内を見て歩く「塩尻みてある記」も行われます。

第1回は昭和62年に開催されていて、29回目となった今年は9月26日（土）、27日（日）に行われました。26日には、塩尻市民による短歌オペレッタ公演『だいだらぼっちのたのみごと』と、歌人による記念トークイベントもあり、多くの参加者が短歌に親しみました。

「全国短歌フォーラム in 塩尻」には小・中・高校生の短歌を募集する「学生の部」もあり、今年は11月28日（土）にレザンホールで開催されます。

昨年の最優秀賞4作品の中から中学生と高校生が詠んだ2首を紹介します。

「車から車いすに移る時舞い落ちてきたやわらかい桜」 田名部 寛乃さん
「蝉時雨炎天直下の木漏れ日が私に光の斑点着せる」 今井 凜さん



塩尻市立図書館本館の1階北側の1・2番書架には、短歌コーナーがあり、短歌の作り方や鑑賞の本、歌集が多くあります。皆さんも普段の生活の中で感動したことなどをもとに短歌を作ってみませんか。

社会人二年生！

山端が行く



夏も終わり、肌寒くなってきました。秋と言えば、やはり食欲の秋。美味しいものが恋しくなります。この時期は、食生活に気を付けないと、あつという間に体重に変化が…。

さて、改めまして、山端と申します。今回もテーマに沿ったお話をさせていただきます。今回のテーマは「好きな言葉」です。

私が小学校6年生のときに、好きな言葉を習字で書いてみよう！ という授業がありました。その際に、同じクラスの女の子が「臥薪嘗胆」という見慣れない字を書いていて、その字を書いた理由について聞いてみると、「どんな事でも耐えて、将来したいことをするため」だと教えてくれました。

小学生でこういった言葉を知っていることに驚き、印象深く覚えていました。ちなみに私が書いた言葉は「猪突猛進」です。私は不器用なので、とりあえず前に進んでいけるようにその言葉を書きました。今その言葉は好きですし、ほかにも「七転び八起き」など、前向きになれる言葉が好きです。

図書館や本はステキな言葉であふれています。皆さんも好きな言葉を書き加えてみてはいかがでしょう。

それでは、今回はここまでで失礼します。

編集後記：

秋がやってきましたね！お出かけしたくなる季節ですね。図書館でもいろいろなイベントを開催します。ぜひ、参加してください。

図書館では青少年交流検討チームという中高生を応援し、青少年のサービスやイベントを考える検討チームがあります。そのチームメイトが私のキャラクターをつくってくれました。こちら、よろしくお祈りします。



(上野)